

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 名

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社
 コード番号 8071 URL <http://www.tokai-ele.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大倉 慎
 (氏名) 森田 誠
 配当支払開始予定日

TEL 052-261-3211
 平成28年11月30日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 19,244 | △2.8 | 384 | △29.8 | 348 | △33.5 | 204 | △25.9 |
| 28年3月期第2四半期 | 19,808 | △0.9 | 547 | 21.7 | 524 | 10.9 | 275 | 9.7 |

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △42百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 221百万円 (△51.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第2四半期 | 95.08 | 93.24 |
| 28年3月期第2四半期 | 128.25 | 126.21 |

※平成28年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 19,259 | 11,350 | 58.5 |
| 28年3月期 | 18,566 | 11,488 | 61.5 |

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 11,271百万円 28年3月期 11,422百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |
| 29年3月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | 50.00 | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しています。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の期末配当金は10円となり、1株当たり年間配当金は20円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-----|------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 39,000 | 1.9 | 920 | 0.4 | 940 | 6.8 | 600 | 36.4 | 279.10 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しています。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期2Q | 2,360,263 株 | 28年3月期 | 2,360,263 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期2Q | 211,154 株 | 28年3月期 | 211,041 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期2Q | 2,149,152 株 | 28年3月期2Q | 2,149,980 株 |

(注)平成28年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績について)

当社は、平成28年6月28日開催の第61期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で、株式併合を実施しています。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成29年3月期の配当予想 1株当たり配当金 第2四半期末 10円(注1) 期末 10円(注2)
 2. 平成29年3月期の通期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 期末 55円82銭
- (注1)第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。
(注2)株式併合考慮前に換算した配当額です。
(注3)平成29年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は20円となります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (4) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、円高の進行に加え、中国を始めとするアジア新興国経済の減速や英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性の高まりから、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループは第1四半期連結会計期間より中国における営業地域を「華北・華東」及び「華南」に分けておりましたが、ビジネス環境の変化が速い中国市場の動きを的確に捉え、お客様のニーズ、課題に迅速にお応えすべく、深圳現地法人の業務を上海現地法人に統合し、中国全体を見据えた組織体制に変更しました。

また、2014年度を初年度とする中期経営計画(Global Action 2016 : GA16)の最終年度を迎え、GA16のテーマである「1. Global Partnerとしての体制構築 ～技術商社として、かけがえのないパートナーに～」、「2. 自動車、環境・エネルギーそして医療など社会・生活基盤への一層の注力」の実現に向け、海外拠点体制の強化、グローバル人材の育成、技術サポート、システム提案の強化、医療及び環境・エネルギー関連プロジェクトの立上げ等実行してきており、各施策は着実に効果に結びつきつつあります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績における自動車分野ビジネスについては、海外は北米における自動車分野向けの販売は引き続き堅調に推移しておりますが、前年同期と比較して為替相場が大幅な円高となったことに伴い円換算額は減少しました。しかし、国内については熊本地震の影響を受けたものの、第2四半期連結会計期間以降、自動車生産が回復し業績は堅調に推移したことにより、自動車分野向け売上は前年同期を上回る結果となりました。情報通信分野ビジネスについては、中華圏においてモバイル機器等の受注が引き続き低調に推移しており、東南アジア圏においてもOA機器向けデバイスの販売が低調となったことに加え、為替相場が大幅な円高となった影響を受け、前年同期を下回る結果となりました。また、FA・工作機械分野ビジネスについては、半導体設備投資関連では一部堅調に推移しておりますが、国内において省エネ補助金の終了に伴いお客様の設備投資が減少し受注が落ち込んだことから、前年同期を下回る結果となりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は192億4千4百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益3億8千4百万円（前年同期比29.8%減）、経常利益3億4千8百万円（前年同期比33.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億4百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

○デバイス・ソリューション関東・甲信越カンパニー

自動車分野においては主要メーカの事業撤退に伴い銅合金関連の販売が減少したことに加え、情報通信分野においては円高の影響とともに、OA機器向け販売が低調となったことにより、売上高は18億4千3百万円となり前年同期比7.5%減少となりました。

○デバイス・ソリューション中部・関西第1カンパニー

医療分野においては、病院施設関連向けの受注が増加し販売は堅調に推移しましたが、FA・工作機械分野において、省エネ補助金終了に伴う受注減少や、製造業における設備投資の需要停滞に加え、中国経済減速の長期化により中国における設備投資が減少した結果、売上高は40億8百万円となり前年同期比5.5%減少となりました。

○デバイス・ソリューション中部・関西第2カンパニー

自動車分野においては、お客様の国内生産比率の増加によりマイコン受注が堅調に推移したことに加え、一部熊本地震の影響があったものの、第2四半期連結会計期間以降、自動車生産が大きく回復したことにより、売上高は73億7千7百万円となり前年同期比12.2%増加となりました。

○オーバーシーズ・ソリューションカンパニー

自動車分野においては、米国市場の堅調な景気に支えられた自動車生産の増加に伴い業績は好調に推移しました。情報通信分野においては、中華圏は景気停滞と東南アジア圏への生産移管の影響により業績は低調に推移したことに加え、東南アジア圏においてもOA機器向けデバイスの販売が前年同期を下回り業績は低調に推移しました。また、為替相場が前年同期と比べ大幅に円高となったことから各分野での業績は円換算額が大きく減少することとなり、売上高は50億9百万円となり前年同期比16.8%減少となりました。

○システム・ソリューションカンパニー

FA・工作機械分野においては、半導体設備及び環境対応車用バッテリー生産設備の投資が堅調に推移していることに加え、病院施設工事関連の受注が増加した結果、売上高は10億5百万円となり前年同期比3.3%増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は192億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9千3百万円の増加となりました。主な要因は、たな卸資産が4億1千9百万円減少しましたが、現金及び預金が5億5千7百万円、売上債権が5億8千万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は79億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億3千1百万円の増加となりました。主な要因は、仕入債務が7億9千8百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は113億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千8百万円の減少となりました。主な要因は、増加要因として親会社株主に帰属する四半期純利益2億4百万円を計上しましたが、配当金の支払1億7百万円に加え、円高の影響により為替換算調整勘定が2億4千6百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億5千7百万円増加し、21億7千2百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは8億2千2百万円の収入となり、前年同期と比較して8億1千6百万円増加しました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益が3億4千7百万円となり前年同期と比較して1億5千4百万円減少しましたが、増加要因として、たな卸資産の増減額が2億9千8百万円となり前年同期と比較して11億5百万円増加したこと、仕入債務の増減額が9億6千5百万円となり前年同期と比較して10億3千3百万円増加したこと、法人税の支払額が1億1千万円となり前年同期と比較して1億8千8百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは6千3百万円の支出となり、前年同期と比較して3千4百万円の支出増加となりました。

主な要因は、有形固定資産の売却により1千4百万円の収入がありましたが、支出増加要因として、無形固定資産の取得による支出が1千3百万円となり前年同期と比較して9百万円支出増加したことに加え、投資不動産の取得により5千6百万円支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1億1千万円の支出となり、前年同期とほぼ同額となりました。

主な要因は、配当金の支払額が1億7百万円支出したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月27日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,615,346 | 2,172,759 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,190,817 | 7,552,945 |
| 電子記録債権 | 2,419,011 | 2,637,413 |
| たな卸資産 | 3,123,803 | 2,704,088 |
| その他 | 270,633 | 243,635 |
| 流動資産合計 | 14,619,612 | 15,310,843 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 1,915,840 | 1,816,076 |
| その他(純額) | 951,001 | 813,419 |
| 有形固定資産合計 | 2,866,841 | 2,629,495 |
| 無形固定資産 | | |
| | 69,862 | 62,909 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 691,552 | 695,054 |
| その他 | 318,895 | 561,559 |
| 投資その他の資産合計 | 1,010,447 | 1,256,614 |
| 固定資産合計 | 3,947,152 | 3,949,019 |
| 資産合計 | 18,566,765 | 19,259,862 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,947,741 | 4,467,970 |
| 電子記録債務 | — | 2,278,335 |
| 未払法人税等 | 107,760 | 144,285 |
| 賞与引当金 | 162,050 | 186,402 |
| 役員賞与引当金 | 105,788 | 54,525 |
| その他 | 291,690 | 301,499 |
| 流動負債合計 | 6,615,030 | 7,433,017 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 344,839 | 357,234 |
| その他 | 118,133 | 119,547 |
| 固定負債合計 | 462,973 | 476,781 |
| 負債合計 | 7,078,004 | 7,909,799 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,075,396 | 3,075,396 |
| 資本剰余金 | 2,511,009 | 2,511,009 |
| 利益剰余金 | 6,628,970 | 6,725,842 |
| 自己株式 | △416,460 | △416,743 |
| 株主資本合計 | 11,798,914 | 11,895,504 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 266,061 | 265,079 |
| 土地再評価差額金 | △662,775 | △662,775 |
| 為替換算調整勘定 | 19,928 | △226,270 |
| その他の包括利益累計額合計 | △376,785 | △623,965 |
| 新株予約権 | 66,631 | 78,524 |
| 純資産合計 | 11,488,760 | 11,350,063 |
| 負債純資産合計 | 18,566,765 | 19,259,862 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 19,808,642 | 19,244,439 |
| 売上原価 | 17,143,409 | 16,823,091 |
| 売上総利益 | 2,665,232 | 2,421,348 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,117,925 | 2,037,005 |
| 営業利益 | 547,307 | 384,343 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 502 | 946 |
| 受取配当金 | 8,877 | 7,739 |
| 仕入割引 | 6,344 | 6,536 |
| 不動産賃貸料 | — | 3,066 |
| その他 | 2,599 | 4,049 |
| 営業外収益合計 | 18,323 | 22,338 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 40,703 | 50,438 |
| 不動産賃貸原価 | — | 7,472 |
| その他 | 263 | 3 |
| 営業外費用合計 | 40,966 | 57,913 |
| 経常利益 | 524,665 | 348,767 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | — | 1,668 |
| 特別利益合計 | — | 1,668 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 3,317 |
| 解体費用 | 15,890 | — |
| 事務所移転費用 | 7,321 | — |
| 特別損失合計 | 23,211 | 3,317 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 501,453 | 347,118 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 221,771 | 151,619 |
| 法人税等調整額 | 3,937 | △8,833 |
| 法人税等合計 | 225,708 | 142,785 |
| 四半期純利益 | 275,745 | 204,333 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 275,745 | 204,333 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 275,745 | 204,333 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △41,876 | △981 |
| 為替換算調整勘定 | △12,345 | △246,198 |
| その他の包括利益合計 | △54,221 | △247,180 |
| 四半期包括利益 | 221,523 | △42,847 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 221,523 | △42,847 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 501,453 | 347,118 |
| 減価償却費 | 77,535 | 64,889 |
| 解体費用 | 15,890 | — |
| 事務所移転費用 | 7,321 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △9,380 | △8,686 |
| 不動産賃貸料 | — | △3,066 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 597,716 | △784,945 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △806,998 | 298,628 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △68,306 | 965,619 |
| その他 | △27,004 | 38,862 |
| 小計 | 288,227 | 918,420 |
| 利息及び配当金の受取額 | 9,380 | 8,686 |
| 事務所移転費用の支払額 | △7,321 | — |
| 法人税等の支払額 | △298,536 | △110,136 |
| 法人税等の還付額 | 15,106 | 6,025 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 6,856 | 822,995 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 14,629 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △16,498 | △7,214 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,941 | △13,500 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △4,497 | △4,432 |
| 投資不動産の賃貸による収入 | — | 3,066 |
| 投資不動産の取得による支出 | — | △56,255 |
| その他 | △3,711 | 410 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △28,648 | △63,294 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △2,888 | △3,119 |
| 自己株式の取得による支出 | △683 | △282 |
| 配当金の支払額 | △107,368 | △107,153 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △110,941 | △110,555 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △2,729 | △91,731 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △135,463 | 557,412 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,669,931 | 1,615,346 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,534,467 | 2,172,759 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 計 |
|-----------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------|-----------------------|------------|
| | デバイス・ソリューション 関東・甲信越 カンパニー | デバイス・ソリューション 中部・関西第 1カンパニー | デバイス・ソリューション 中部・関西第 2カンパニー | オーバーシーズ・ソリューション カンパニー | システム・ソリューション カンパニー | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,991,543 | 4,243,304 | 6,575,662 | 6,024,401 | 973,731 | 19,808,642 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 964,832 | 115,441 | 44,148 | 88,343 | 7,514 | 1,220,281 |
| 計 | 2,956,376 | 4,358,746 | 6,619,810 | 6,112,744 | 981,245 | 21,028,923 |
| セグメント利益 | 252,379 | 177,908 | 316,396 | 140,613 | 30,540 | 917,838 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 917,838 |
| セグメント間取引消去 | 15,633 |
| 全社費用(注) | △386,164 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 547,307 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 計 |
|-----------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------|------------|
| | デバイス・ソリューション 関東・甲信越 カンパニー | デバイス・ソリューション 中部・関西第 1カンパニー | デバイス・ソリューション 中部・関西第 2カンパニー | オーバース ーズ・ソリ ューション カンパニー | システム・ソ リューション カンパニー | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,843,171 | 4,008,659 | 7,377,572 | 5,009,520 | 1,005,516 | 19,244,439 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 661,019 | 65,551 | 39,248 | 98,064 | 10,996 | 874,880 |
| 計 | 2,504,190 | 4,074,211 | 7,416,820 | 5,107,584 | 1,016,512 | 20,119,319 |
| セグメント利益 | 106,827 | 132,569 | 325,486 | 106,202 | 26,312 | 697,397 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 697,397 |
| セグメント間取引消去 | 36,987 |
| 全社費用(注) | △350,041 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 384,343 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。